

令和7年度(6年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市市民活動交流支援センター>

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	1. 管理運営業務 (1) 受付業務 (2) センターの維持に関すること (3) その他必要な管理運営業務 2. センターの事業運営 (1) 情報の収集・提供及び広報事業 (2) 相談業務 (3) 行政と団体との中間支援組織としてのコーディネート業務 (4) 調査提言機能 (5) 行政との連携 (6) 市民や市民団体向けの交流事業、啓発事業の企画・運営(年3回以上) (7) 市民ニーズに応じたセンター運営

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	0	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点  目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。  平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値  目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。  平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)	【評価対象外】	
			②利用人数	10	目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 ※95%未満がコロナの影響によるものと認められる場合は、一律8点とする。  平均値比(161.28%)=利用人数(延べ8,398人)÷上記(2)適用(5,207人:15,622÷3)	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値  目標値比とは、指定管理者が指定管理全期間分を指定管理者候補団体選定及び評価委員会に諮り、決定した値を実績値で割って求めた率をいう。  平均値比(161.28%)=利用人数(延べ8,398人)÷上記(2)適用(5,207人:15,622÷3)	105%以上 5点	利用人数 R6年度 8,398人 前年比 2,398人 R5年度 6,008人 前年比 993人 R4年度 5,015人 前年比 416人 R3年度 4,599人 前年比 ▲784人 R2年度 5,383人 前年比 ▲3,491人 R1年度 8,874人 前年比 111人 30年度 8,763人 前年比 1,132人 29年度 7,631人 前年比 308人 28年度 7,323人 前年比 ▲550人 (前指定管理年 28・29・30・R1・R2年度) ※「①施設の利用率」を評価対象外としたため、当該項目を10点満点評価とする。
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点  1. 情報の収集・提供及び広報事業 ・ほると多治見たよりを発行(年4回6・9・12・3月)、登録団体への送付、公民館・市内施設・小中学校などに配布 ・HPでの情報発信(週1回更新)、ほると多治見の活動、登録団体のイベント、補助金・助成金等の情報を提供 ・展示スペースを活用した市民活動等に関する情報発信(多治見市まちづくり活動補助金コーナー常設) ・チラシ、ポスターに二次元コードを貼付。⇒HPからの講座申込が増加。合わせてHPからの活動に関する問合せも増加。 2. 登録団体の情報更新(年1回) ・令和6年度末の登録団体数 166(うち、NPO法人35)。内訳は、新規7(0) 活動停止・休止11(2) 3. 行政との連携 ・くらし人権課 期毎の打ち合わせ(年2回)、男女共同参画普及展示(年1回)、まちづくり活動補助金PR、相談対応、情報共有 ・環境課 ダンボールコンポストの取次販売を実施 ・企画防災課 「環境の変化と災害」展示(環境フェア)の資料提供協力 ・社会福祉協議会 防災ボランティア連携会議への参加。 ・子ども支援課 公民館での新規の活動者への対応方法に関する打合せ、対応マニュアルの点検を文化スポーツ課とともに実施。 ・近隣の市民活動センターとの連携・情報交換 ⇒ NPO専門相談・NPOカフェ・市民活動交流会の開催 市民活動団体や個人からの問合せに関する相談・情報共有の実施。 4. 相談・コーディネート業務 ・NPO専門相談実施(4・5・6・7・8・11・12・2・3月の計8回、20人参加) ・NPOカフェ開催4回開催(座学3回(交流会1回を含む) 合計46人参加) ⇒「まちづくり活動補助金活用による活動の活性化」(団体内のコミュニケーションを高める)をテーマとした活動を実施。 「まちづくり活動補助金センター」サポート、「プチ交流会」「人間関係を円滑にする話し方」の各種講座を開催する。 ・市民活動窓口相談 115件 ・多治見市まちづくり活動補助金窓口相談 14件 5. 調査・提言機能 ・市民活動団体の現状把握・支援のため市民活動団体の現場訪問11件(オンライン参加も含む) 6. 市民活動を育てる交流・啓発事業 ・市民活動団体交流会(活動紹介「金森長近生誕500年記念講演会に関する活動発表 発表者:感謝まいり企画」交流会参加者27名) ・市民活動サポート事業 防災カードゲーム「まるで防災」体験会(ほると多治見が発案し、市民活動団体が制作した防災カードゲームの体験会を実施。体験を通して、防災カードゲームの存在や楽しさを知ってもらい、広く活用してもらえようようにすることを狙う。 7. 市民ニーズに応じたセンター運営 ・「多治見おもちゃ病院」活動サポート(年12回217人) ・ダンボールコンポストの普及支援 ・MOZAIQ(モザイク)の普及支援 8. 認知度向上・賑わい事業 ・来館者との接点を広げ、賑わいを創出するとともに、認知度を高めるため、おかけさまスペースを設置。 ・ほるとマーケットを実施し、寄付金(53,000円)はうながっぱ寄付金へ全額寄付 ・1階ロビーでの団体情報発信(全国ウクライナの子どものための絵画巡回展示、C-POWER Cfan創刊展示、NPOシニアネット多治見活動紹介展示) ・古切手、ベルマーク収集の寄付活動	1. チラシや展示スペース、HP等を活用し、市民活動団体のPRや各種助成金等の情報提供を実施し、活動活性化のきっかけづくりやほるとの認知度向上に向けた取り組みが行われている。また、各種講座等に参加し情報収集を行っており、市民活動団体から相談が寄せられた際のアドバイスに役立っている。 2. 新規団体が7団体いることから、現地視察等を通じ、ほるとの認知度が向上した結果であると考えられる。また、登録団体の情報更新をきっかけに、団体とのやり取りが生まれ、相談しやすい仕組みが構築できている。 3. 引き続き市役所各課および関係機関等と連携し、市民活動団体の活動活性化のきっかけづくりを行うことができています。また、市外の市民活動支援センターとの情報交換も行って、幅広い視点でのアドバイスや講座の企画・実施に繋げており、良い。 4. NPO専門相談においては、NPOの運営等に関する専門的な相談に応じ、団体の円滑な運営に繋がった。市民活動活性化窓口相談においては、各活動現場視察や講座等への参加から得た知見、活用できる助成金等の情報を提供し、相談者の課題解決に貢献した。また、相談者の抱える課題に応じ、適切な団体を紹介する等、団体間の活動連携のきっかけづくりを行うことができています。今後も引き続き、団体間の活動連携を通じた活動活性化の仕掛けづくりを行ってほしい。さらに、まちづくり活動補助金窓口相談においては、各種講座を開催し、申請書や発表資料の作成方法について、団体の疑問点が解消されるよう、きめ細やかな対応がされている。活動資金の面から団体の活動活性化に貢献でき、大変良い。今後も、充実した資料作成や、補助金申請のサポートを継続してほしい。 5. 視察等を通じ団体との関係性を構築しているほか、得た情報を職員間で共有し、団体への活動提案や相談対応に活かしている。また、登録団体を適宜紹介するなど、活動連携に繋げており、市民活動活性化のきっかけづくりを行うことができています。今後も引き続き、団体との関係性を活かし、活動提案やマッチングを促進させて欲しい。 6. 団体のニーズに応じ、各種講座や交流会を企画・開催するなど、団体のスキルアップや活動連携のきっかけづくりを行うことができています。交流会においては、団体間の交流が生まれやすいよう話題を提供するなど、開催方法に工夫が凝らされていた。その結果として、交流会中のみならず、休憩時間や終了後も団体間の交流を生み出すことができた点は、素晴らしい。今後は、活動連携による新たな取り組みなどが生まれやすくなるようにしたい。 7. 市民活動団体に活動場所を提供し、市民・団体間の接点や繋がりを生み出すことができています。また、後継団体を紹介・仲介するなど、団体の持続可能な運営に貢献できている。 8. ほるとのフロアのほか、1階ロビーを活用し、団体の活動PRやほるとの認知度向上に向けた取り組みが行われている。また、HPを活用し、イベント情報を掲載するだけでなく、講座の重要なポイント等も掲載し、講座に参加できなかった団体のスキルアップにも貢献している。	仕様書以上 12点	12点	
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る:2~0点  1. 市民活動サポート事業 ・「語り部に聞く戦争の話 子どもが伝える多治見空襲と戦争にまつわる話」8/17 (38人) 「子どもの語り部」による多治見空襲をはじめとする戦争研究に関する発表。若い語り部の参加は全国的な課題となっているが多治見市では2名の参加を得ることが出来ている。長年取り組んできた成果であると考えている。 2. スキルアップ講座 ・「プロから学ぶ、伝わる文章とは」(全2回:48名) 報告書作成などで必要となる文章力を高めたい、という声に応じ、元新聞記者・元アナウンサーの講師による講座を企画・実施。文章作成のポイントや文章表現における言葉選びについて学ぶ。 ・「NPO会計で大切なこと。らくらく決算 らくらく解決 基礎の基礎!」(全1回:6名) NPO活動における会計処理の目的、重要性について解説。日々の記録の積み重ねが重要であることを学ぶ。 3. 共催事業 多治見市学習館との共催により「陸上自衛隊 災害派遣活動展示」を開催。 これに関連して防災普及啓発事業として「能登半島地震 派遣活動から防災について考える」(全1回:18名)を開催。 4. 市民活動団体との連携事業 市民活動団体に協力して完成した防災ボードゲーム「まるで防災」 令和4年度に実施した市内外の防災活動団体と協力して実施した事業「防災フェスタ地球村」の開催にあたり、防災を楽しみながら学べるボードゲームを活用して普及啓発していくことを市内でボードゲーム体験会を行っている団体に提案。この提案に賛同した団体がゲームを開発、令和5年度に完成させた。 完成をうけてほると多治見では、公民館等での普及につなげる活動を展開、多治見市教育委員会へ呼びかけ、校長会を通じて学校での活用を行っていただくよう呼びかけた。 5. 認知度向上への取り組み ほると多治見が来館しやすい雰囲気となるようディスプレイを行う。 ほるとスカイガーデンをより多くのお客様に活用してもらうため、汚れてもモップで拭き取れるタイプのカーペットへ取り換えを行う。	1. 登録団体からの相談に対し、活動提案を行うなど、団体の活動サポートを行うことができています。また、団体の活躍機会や、団体・市民間の繋がりを創出することができています。 2. 団体からの要望をもとに講座を企画・実施しているほか、参加者の習熟度に合わせたアドバイスができています。また、活動資金獲得ノウハウに関する講座も開催しており、団体を資金面からサポートする取り組みも行うことができています。今後も引き続き、活動ノウハウのほか、資金獲得のための具体的なノウハウ獲得に向けた講座を開催し、団体のさらなるスキルアップに繋がって欲しい。 3. 市民の防災意識向上に貢献できているほか、防災に取り組む団体やこれまで接点のなかった団体同士の交流機会を創出することができており、素晴らしい。また、公民館や学校など地域で展開する活動により、ほかの市民活動団体や企業、一般市民等との繋がりを生み出すことができており、良い。 5. ほるとは市民活動支援の拠点であることから認知度向上は、市民活動の活性化につながる。今後もほるとの認知度を向上する取り組みを継続してほしい。	期待以上 14点	14点			

2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	受付開始前清掃を毎日実施。(新型コロナ感染対策として机等を消毒。お客様使用後等についても実施。)	適正(普通) 2点	適正に実施している。	10点
			②保守・点検			ヤマカまなびパーク保守点検計画に基づき、施設管理担当が毎日実施	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに適正に管理している。	
			③保安・警備			ヤマカまなびパーク保安警備計画に基づき、保安警備担当が毎日実施	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			④小規模修繕			特になし	適正(普通) 2点	該当なし	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			設備備品点検および目視による天井・壁・床の安全点検を毎日実施。危険または異常と思われる箇所が発見された場合は施設管理担当に連絡し、改善を図る。	適正(普通) 2点	日常業務の中で、随時危険箇所の点検を行っている。	
	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書は鍵のかかる書庫にて保管、個人情報を含むものには細心の注意を払い、目的外に使用しないよう管理を徹底。必要のなくなった個人情報が含まれる文書は速やかに適切な方法により廃棄。	適正(普通) 2点	鍵付きキャビネットで文書を保存し、個人情報に最新の注意を払っている。絶えず整理整頓し、分かりやすく、見やすいファイリングを実施している。	10点	
②環境への配慮		エコ商品の購入、内部資料印刷時は裏紙を使用、不必要な箇所は消灯するなどの省エネルギー活動を実施。			適正(普通) 2点	適正に実施している。			
③バリアフリー		車椅子やベビーカーを使用されるお客様の妨げにならないよう椅子の整理整頓など安全な動線確保への取組みや、「心のバリアフリー」として笑顔での声掛けを実施。			適正(普通) 2点	十分なスペースを確保し、安全な動線確保を行っている。			
④備品管理		故障破損点検、備品シール貼付け、備品写真を掲載した備品台帳での管理の徹底。丁寧な使用により長く使用できるための取組みも実施。			適正(普通) 2点	備品写真を備品台帳に掲載することにより、市の備品と指定管理者の備品の管理が徹底されている。			
⑤個人情報保護		(公財)多治見市文化振興事業団の方針に従い、取組みを実施。 ・不必要な情報は適切な方法により破棄。 ・文書管理を徹底し、個人情報が発見・漏洩することがないよう厳重に管理。 ・パソコン内のハードディスク上に個人情報を保存しない。 ・マイナンバーの取り扱いについては必要に応じて講師からお預かりしたのち、開封せずに(公財)多治見市文化振興事業団本部に渡す。 ・登録団体の情報公開については各団体に個別に確認の上、情報をきめ細かく管理。			適正(普通) 2点	指定管理者の基本方針に基づいて適正に管理している。			
⑥事故等への対応		0			事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等への対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし/対応に不備なし 0点		事故なし
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入(283,963,077)÷支出(289,470,094)=98% 学習館・図書館を含む	100%未満 3点		3点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	1. 窓口での相談や問合せ、講座でのアンケート、市民活動団体への視察及び情報収集などを通じて、お客様の要望や団体の課題に関する情報の把握についても、講座企画へ反映させた。現在は、団体の活動を継続していく方法やネット活用に関する要望・問合せが増えてきたことから、仲間の作り方や動画を使った活動紹介による方法などに関する講座を企画し実施した。 2. 来所者の声を取り入れ、6階カウンターにてお茶・お水の販売サービスを実施。 3. 寄付ボランティアの普及を目的としたチャリティ「ぼるとマーケット」を継続して実施。(ぼるとマーケットによる多治見市への寄付額開始から7年間では30万円を超えた。) 4. 来館されたお客様に閲覧しやすくするためボランティア・補助金情報揭示コーナーでの情報提供を実施。 5. 多治見市まちづくり活動補助金を活用してもらうための方法として、新たに「エントリーサポート講座」を開催。⇒参加した団体のうち1団体が多治見市まちづくり活動補助金の獲得に成功した。(他の方はエントリーせず) そのほか、多治見市まちづくり活動補助金のPR展示を実施したほか、窓口相談対応を強化、申請書の書き方やプレゼン資料づくりのレクチャー等を行う。 6. 子ども食堂活動に関する公民館の問い合わせなどに対応するとともに情報共有を図った。 7. 近隣のNPOセンターとの交流を図り、様々な活動の事例などの情報を獲得し、問合せや相談の際に参考するようにした。 8. 団体の活動現場を視察し、現場の声を聞くなどして課題解決にむけた方法などについて調査を行った。	期待以上 8点	1.2積極的に情報収集を行っており、寄せられた意見や視察時等に発見した課題点等、利用者のニーズを把握し、事業に反映させることができている。引き続き、より一層充実した支援を行ってほしい。 3.継続した活動を実施することにより、成果を積み上げることができている。 4.きめ細やかな情報提供を行い、団体活動の継続を寄与している。 5.まちづくり活動補助金の周知につながっており、講座に参加した団体の申請書、プレゼン資料は他の団体と比べてレベルが高く、結果につながって大変良い成果が得られている。 6.子ども食堂活動や利用者双方の利便性の向上につながっている。 7.他機関と交流し情報交換等を行う事で、知見を広め団体活動の支援に反映させることができている。 8.活動している場を視察することで、よりの確かなアドバイスを行えている。	8点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	なし	期待以上 5点	苦情等が寄せられる前に利用団体や利用者の希望に添えるような事業展開を行っている。	5点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	1. 6階フロアロビー「ぼるとスカイラウンジ」の整備を実施。 飲談しやすく、居心地の良い環境をお客様に提供するため、コロナ対策緩和に伴い、食事をとれるように整備。テスト期間に高校生などが活用し、市民活動団体の情報等に触れる機会を創出。整備を進めたことで、定期的に利用されるお客様が増加した。 2. 多治見まちづくり活動補助金エントリー支援窓口の充実を図り、補助金活用のための手続き等に関する支援を行った。 3. NPO法人の活動などの情報を有するとうしん地域活力研究所との連携を強化。企業と市民活動団体をつなぎ、様々な活動の活性化へつなげていけるよう運動事業企画を策定した。 4. 職員のスキルアップを図り、活動団体の問合せにもしっかりと対応できるよう研修に参加するなどの活動を行った。 5. 視察によって得た情報収集の成果および類似する活動に関する問合せ等への対応方法について職員間で情報共有を図った。 ⇒窓口での相談力の強化につながる。 6. ホームページの情報更新力を向上させる取組みを進める。⇒ホームページからの問合せが徐々に増加している。 7. 問合せ時に、すぐに団体の情報の確認などができるよう整理・分類を行った。	期待以上 13点	1.気軽に利用しやすい施設となるよう、環境整備が行われており、市民活動団体の啓発につながっている。 2.まちづくり活動補助金の活用に向けた相談対応を行い、団体の活動活性化に繋げている。きめ細やかなサポートを行うほか、申請書作成に特化した講座を開催するなど、団体のさらなる活動活性化に向けた取り組みが行えている。 3.行政機関だけでなく、民間事業者との連携も進めており、より幅広い視点で団体の活動支援を行うことができている。今後も引き続き、さまざまな民間事業者と連携を強化し、市民活動活性化に繋げて欲しい。 4.5各種研修や現場視察等を通して得た知見を活用し、団体へのアドバイス等が行われており、団体の活動活性化に貢献できている。 6.ホームページの情報を新しいものにするにより、外からのアクセスを増やし、活動の啓発につながっている。 7.登録団体の情報をまとめて整理することでスムーズな対応ができている。	13点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	遅れ・不備なし	遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示なし	指示等なし/対応等が期待どおり 減点なし		0点	
		合計	100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 1.団体間の活動連携促進 ①これまで構築してきた団体との関係性を活かし、活動提案やマッチングを実施することができている。 ②市民活動団体交流会は、開催方法に工夫を凝らし、終了後等にも団体同士の自発的な交流が生まれており、各団体の活動でも交流できている。当該交流会から生まれた意見を事業に反映させたり、活動連携による新たな事業が生まれたりするとさらに良い。 2.他機関・他団体との連携による市民活動活性化 ①これまで構築してきた各団体との関係性を活かして、団体間および団体・市民間の接点を創出した。また、当該行事をきっかけとし、市民活動団体の活動活性化に繋げることができている。 ②今後も引き続き、民間企業等との活動連携を促進させ、幅広い視点での団体支援を行ってほしい。 3.団体のスキルアップ ①団体のニーズを把握し、各種講座を企画・開催しており、団体のスキルアップに貢献することができている。今後も、まちづくり活動補助金の申請書、プレゼン資料作成に特化した講座を継続、拡大して欲しい。	合計85点	極めて良好